

避難行動要支援者対策 ～災害弱者をつくらない～

災害が発生した際に、高齢者や障がい者の方々等は、健常者に比べて避難時に特別な対応が必要な場合が多く、また、避難生活においてもより大きな困難を伴うことがあります。この研修では、避難行動要支援者に対して、平時からどのように取組を進め、災害発生時にはいかにして円滑に避難できるようにするのか、また、避難した後の生活において、それぞれのニーズに応じた生活が送れるよう、市町村等がどのような対策を行っていくべきか演習を通じて考えます。

研修の ポイント

- 事前課題を通じて、避難行動要支援者対策の必要性や、どのような支援が求められているのかを学びます。
- 災害時ケアプランの作成演習を通じて、当事者、住民、福祉専門職と協力し、要支援者が避難する方法や避難生活を送るための個別支援計画の作成等について学びます。
- インクルージョン・マネージャー演習・講義を通じて、当事者、住民、福祉専門職間をつなぐハブ的な役割を担う方々に必要なスキル等の習得を目指します。

開催要領

日 程

令和3年11月8日(月)～11月10日(水)(3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

避難行動要支援者に関わる市区町村や社会福祉協議会、NPO等の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修内容となっておりますのでご注意ください。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず **議会事務局を通じて** お申し込みください。

※事前課題(オンライン上の学習サイトで講義映像の視聴(90分程度)と、復習クイズ)を修了した方のみ、本研修を受講することができます。

募集人数

30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

10,850円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和3年9月22日(水)まで

※新型コロナウイルス感染症の影響により、申込期限内での申込みが難しい等がございましたら、ご遠慮なくご相談ください。

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、**議会事務局を通じて** お申し込みください。

[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

事前にオンライン上の学習サイトにて講義映像の視聴(90分程度)と、復習クイズを受講していただきます。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和3年

11月

8日(月)

11:00~ 入寮受付・昼食

12:30~ 開講・オリエンテーション

13:00~17:00

演習 災害時ケアプラン(風水害避難移動編)の作成

災害と災害リスクを正しく理解し、福祉専門職、福祉サービス従事者や地域住民等と協力し、要支援者に対する支援を行うための知識とスキルを身に付けます。演習を通じて、避難移動のための個別支援計画の作成方法や、地域住民と共有するための実践力を習得します。

17:30~ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25~12:00

演習 災害時ケアプラン(避難生活編)の作成

演習を通じて、福祉避難所や福祉スペースにおいて合理的な配慮にもとづいた避難生活を送るための個別支援計画の作成方法や、地域住民と共有するための実践力を習得します。

13:00~15:35

演習 インクルージョン・マネージャー基礎演習

境界連結者(インクルージョン・マネージャー:行政内部の防災部局と保健・福祉部局等の連結はもちろん、地域や当事者、福祉専門職をつなぐハブ的な役割を担う方々)の考え方や活動を実践できる担い手を継続的に生かすしくみに、実務者が備えるべき知識とスキルを身につけます。また、演習等を通じて、境界を越境し、連携(連結)するために必要なスキルを習得します。

15:50~17:00

演習 インクルージョン・マネージャー実践演習1

当事者力アセスメント・地域力アセスメントの結果に基づき、計画作成対象者(当事者)に必要な支援やその対応、また平時と発災時の避難方法・避難生活等について、地域の方々と当事者、福祉専門職等をつなぐ話し合いの場「地域調整会議」の場面を想定し、スキットを使った演習で、対応方法を習得します。

9:25~11:05

演習 インクルージョン・マネージャー実践演習2

昨日に引き続き、演習を通じてインクルージョン・マネージャーとしての対応方法を習得します。

11:20~12:00

講義 インクルージョン・マネージャー講義

インクルージョン・マネージャーが実践の中で直面する課題を理解し、課題解決に必要とされる考え方等を講義形式で学びます。

13:00~14:10

演習 ふりかえりワーク

3日間の演習をふりかえり、受講生同士による意見交換を演習形式で行い、学びを深めます。最後に講師からの講評で3日間のまとめを行います。

14:10~14:40 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

講師

【演習・講義】 同志社大学 社会学部 教授 **立木 茂雄** 氏

【演習】 同志社大学 インクルーシブ防災研究センター 特定任用助教 **辻岡 綾** 氏

【演習】 防災科学技術研究所 研究員 **松川 杏寧** 氏

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひ登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。